

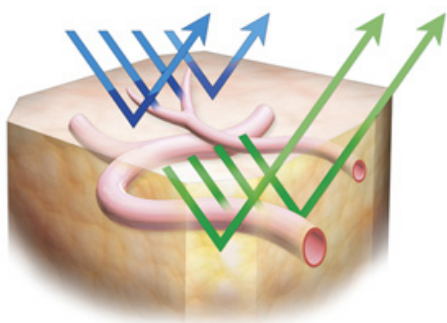
2017年5月1日

## 平成29年度 春の褒章における 当社社員の「紫綬褒章」受章のお知らせ

オリンパス株式会社(社長:笹 宏行)の社員、後野 和弘(ごの かずひろ)が平成29年度春の褒章において、「狭帯域光観察内視鏡システムの開発」により紫綬褒章を受章することになりましたので、お知らせします。伝達式は5月16日(火)に行われる予定です。

紫綬褒章は、科学技術分野における発明・発見や、学術及びスポーツ・芸術文化分野における優れた業績を挙げた個人に授与されます。

当社の社員 後野 和弘(ごの かずひろ)は、長年、医療用内視鏡製品の研究や開発に携わってきました。このたび、がんなどの病変の早期発見をサポートする狭帯域光観察(NBI)\*内視鏡システムの開発が評価され、受章となりました。



狭帯域光観察では、緑色光と青色光を利用して、粘膜表層部と深部の血管を鮮明に表示します



後野和弘さん

※狭帯域光観察(Narrow Band Imaging=NBI)とは

緑色光と青色光を利用し、粘膜表層部と深部の血管を鮮明に表示することで、がんなどの病変の早期発見をサポートする観察法です。

通常の内視鏡では、暗い体内の粘膜表面を白色光で照らして観察しますが、狭帯域光観察(Narrow Band Imaging=NBI)内視鏡システムでは、血液中のヘモグロビンに吸収されやすい狭帯域化された2つの波長(青色光:390~445nm/緑色光:530~550nm)の光で照らして観察するため、粘膜表層の毛細血管と粘膜微細模様が強調して表示されます。がんは自らを大きくするため血管を増やして栄養分を取り込もうとする特性があり、がんが拡大すると毛細血管が増え粘膜表面が込み入った模様に変わるため、NBIでがんの早期発見をサポートします。本技術は、弊社の内視鏡ビデオスコープシステムなどに搭載されています。

【後野 和弘の略歴】

- ・1966年 大阪府生まれ 50歳
- ・1992年 オリンパス光学工業(株)(現:オリンパス(株))入社
- ・1997年 オリンパス(株) 内視鏡開発部 狭帯域光観察内視鏡システムの要素技術開発を開始
- ・2016年 オリンパス(株) 医療要素開発1部 部長に就任し、現在に至る

【後野 和弘の主な受賞・表彰】

- ・2011年 全国発明表彰 内閣総理大臣発明賞
- ・2016年 文部科学大臣表彰 科学技術賞開発部門

本リリースに掲載されている社名は各社の商標または登録商標です。